

石峰&抱月のふるさと『波佐まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 280 2025.7.21

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会

波佐文化協会

能海寛研究会

チベット登山・探検の明治と現代

能海寛研究会 30 周年記念講演会が 7 月 20 日(日)午後 1 時から、波佐まちづくりセンターで開催され参加者全員に『30 周年記念誌』が頒布された。

イベントは、(第一部)基調講演 ①「8,000m 峰の世界を語る」講師・石川直樹氏(写真家・登山家) ②「西藏系出雲族の伝説」講師・渡部秀樹氏(登山家・西藏山岳文化研究者)を開催。午後 3 時から(第二部)「チベット登山・探検トーク」パネラーは、石川直樹氏、渡部秀樹氏。ファシリテーターは、岡崎秀紀(能海寛研究会会長)により開催された。

聴講者は奈良、京都などの遠方からの参加をいただき 70 名が参加された。石川氏は、民俗学を学び日本各地の半島を巡り写真集を発表するなど写真家として活動され、登山家としてもエペレスト、K2 等世界の 14 座を登頂され、素晴らしい山岳写真集を沢山発表されています。8,000m の峰からの体験の動画を用いて詳細にお話しされました。

渡部氏は、松江市出身で、福岡市でアルペンツアーに関わる仕事を通してチベット登山を中心にチベットの山岳信仰と日本の山の神信仰の共通する伝承を貴重な映像写真を通して、チベットと出雲族の関連性を話されました。

また、お二人とも明治の探検家能海寛と河口慧海の当時の山岳登山の難しさと生き様を通して登山家としての視点からお話しされました。



第 13 回チベットセミナー開催

7 月 19 日(土)午後 1 時 30 分から波佐まちづくりセンターで、チベットセミナーが開催された。講師：岡崎秀紀会長による『「能海寛と河口慧海」～二人のチベット仏教求道僧の邂逅』、「1906 年、カム地方を訪ねたフランス人 Jacques Bacot の記録」の 2 本立てで講演。

講演の後、「能海寛研究会 30 年の歩み」の映像を視聴し 30 年の活動を振り返りました。なお、7 月 20 日午前 11 時から「30 周年記念式典・年次総会」が盛大に開催された。